



歌い・踊り、演奏した連合音楽会(6年生)

11月21日(火)に松山市小・中学校連合音楽会が行われ、潮見小学校の6年生が参加しました。

写真にもありますが、「第64回」行われてきていますので、長い歴史をもつ会であることが分かります。保護者の皆様の中にも、参加された方がいらっしゃるのではないのでしょうか。私は、小学生当時、松



山市にいませんでしたから、残念ながら参加経験はありません。こういった機会にめぐまれている子どもたちがうらやましく思います。

市民会館という大舞台で合唱奏を披露することは、子どもたちにとって大変意義深いことだと考えています。発表後、子どもたちからは、「緊張した」「あっという間だった」「楽しかった」というような感想が聞かれました。それは、程よい緊張感の中、集中して発表することができたからだと思います。学年全体で、一つのことに向かって一生懸命練習したり、練習の成果を大勢の人に聞いてもらったりすることは、今後の活動の意欲化につながります。他校の発表を聞くことで、音楽の幅も広がったはずで、小規模の学校は全校で発表していましたし、5年生が歌だけを披露することもありました。学校によって違いがあることも分かったと思います。

潮見小学校の6年生は、郷土色を全面に押し出して、歌、踊り、演奏を披露しました。さすが潮見小学校の6年生。変化があって、見ていてとても楽しい発表でした。連合音楽会をご観覧いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

「おもちゃ祭り」で気分はもう2年生!?(1年生)

1年生は、生活科で秋の木の実や落ち葉を材料にして、おもちゃを作りました。そのおもちゃを使って、11月22日(水)に「おもちゃ祭り」を開きました。

おもちゃ祭りでは、潮見幼稚園、潮見保育園、あさひ保育園の年長の園児を招いて、一緒に活動しました。



1年生の子どもたちは、園児が来るのを楽しみにしてました。どんなことをしたら楽しませることができるかを考えて、おもちゃを作っていましたので、おもちゃの遊び方の説明には熱がこもっていました。来年度、潮見小学校に入学する園児も多いと思いますので、今日のことはきっと心に残っていることでしょうし、安心感にもつながると思います。今回のおもちゃ祭りでは、1年生が、着実に成長している姿を見ることができました。気分は2年生だったかもしれません。